

# 新進気鋭のインキュベーションファームの投資・成長支援 本物の起業家を発掘し、 ベンチャー企業の成長を支援する

執筆者：PE&HR株式会社 代表取締役 山本 亮二郎

## 経

営の仕事をしていると、その日常が、競技スポーツと似ていることに気づかされる。アスリートには長期にわたる壮絶な鍛錬が欠かせないが、経営者も同様、一流と呼ぶ頂に立つ資格は、限られた者にしか与えられない。成功の継続、成長の連続は奇跡に近い。尊敬する大経営者は企業活動をマラソンに例え、また身近な経営者の多くがマラソンやトライアスロンに夢中になっている。これは偶然ではないはずだ。

そこで今回は、競技スポーツの支援を事業目的にするブルータグをご紹介します。社長の今矢さんはアテネオリンピックの際に、国際大会でメダルを獲得するほどの日本選手がアルバイトをしながら競技生活を続けている現実を知った。そして、国や大企業の資金支援を得られなくとも、インターネットを活用すれば個人の消費活動を通じてアスリート支援が可能ではないか、と考えた。それがブルータグの始まりである。

メジャースポーツにはスポンサーがつきやすいが、マイナースポーツでは個人やチームが傑出した力を持つていたとしても、スポンサーはつきにくく、経済環境は厳しいものになりやすい。ブルータグでは、セパタクロ、カバディ、アル

## スポーツを変える青いチカラ 世界初、個人の消費活動を通じたアスリート支援

タイムット、スケルトン、チェアカーリング、トレイルランニングなど、一般には馴染みが薄いスポーツ、アスリートを支援している。現在85名が「BLUETAGアスリート」に認定され、世界の舞台で活躍している。

同社のアスリート支援には、主に2つの方法がある。1つ目が、法人スポンサーによる支援。一般的に、知名度の高いアスリートのスポンサーになるためには、数百万円から1億円規模の費用がかかる。一方、同社では月々2万円のアスリートのスポンサーになれる（「法人サポーター」という）。この価格であれば、スポーツを応援するという広告やCSRのメッセージを、企業の大小問わず発信することができる。事実、累計50社の法人サポーターには、一部上場の大企業から社員数名のベンチャーまで名を連ねている。

2つ目が、個人の消費活動を通じた支援。個人がインターネットを通じてスポーツ用品や健康食品などを購入する際、自分が応援したいアスリートを選択すれば購入金額の5%が支援金としてアスリートに届く仕組みである。1件の金額は小さくとも、それが集まれば巨大になるというインターネットの特性が如何なく発揮される。実際、この仕組みは高く評価され、新

規の口座開設が非常に難しいといわれる大手スポーツメーカーのほとんどもが、商品を提供してくれるようになった。

ブルータグの本格的な活動はこれからだ。しかし、法人によるサポートと個人の消費を通じて、既に月に約10万円の支援を得ているアスリートもいる。これはスポーツ振興基金がB指定選手に支給する金額に近い。さらに今年の6月23日から、YAHOO!ショッピング内で「アスリート支援セール」特設サイトをオープンし、アスリート支援の仕組みを、そのままYAHOO!でも提供できることになった。

一流のアスリートへの憧憬は、何も経営者に限ったことではない。全ての人々の中に間違いなくそれはある。おそらく経営だけではなく、人生そのものが競技生活に似ているからだろう。ブルータグの取り組みが多くの人々に支持して頂けることを心から願いたい。

山本 亮二郎(やまもと りょうじろう)

1968年生まれ。早稲田大学を卒業後、株式会社インテリジェンスなどを経て、フューチャーベンチャーキャピタル株式会社に入社。アーリーステージのベンチャー企業を中心に投資し、投資先企業の成長支援に注力する。取締役を務めた2社がIPOを果たす。退職後に上場した夢の街創造委員会株式会社は、売上のない設立段階に3億円台のバリュエーションで計6,000万円を投資し、IPO時に223.7億円の時価総額となった。また株式会社インテリジェンス(JASDAQ)とフューチャーベンチャーキャピタル株式会社(ヘラクレス)には社員株主として出資し、両社とも在職中にIPOを果たす。2003年にPE&HR株式会社を設立し、代表取締役に就任。現在は4社の社外取締役を務めている。

●PE&HR株式会社 <http://www.pehr.jp/>

### ブルータグ株式会社

設立 / 2006年11月22日 資本金 / 1億1,962.5万円(資本準備金含む)

代表者 / 今矢賢一 事業内容 / スポーツ振興・アスリート支援業務

BLUETAGアスリート / 85名

必須条件 / 国内選手権およびそれに準ずる実績をお持ちの方。

世界選手権およびそれに準ずる海外での競技大会での実績をお持ちの方。

支援競技数 / 60 法人サポーター / 累計50社

URL / <http://bluetag.jp/>

<http://bluetag.jp/contents/athlete.html> (BLUETAGアスリート一覧)

PE&HRファンドによる出資額 / 4,225万円

※ファンド出資者 / 政府関連機関、大手銀行グループ、総合商社、

上場企業(複数)、地銀(複数)、証券会社、インキュベーター

PE&HRの成長支援 / 社外取締役の派遣、営業支援



ブルータグが支援するトップアスリートたち



ブルータグ代表の今矢氏(左)とエアロパティックパイロットの室屋氏